

令和6年度全国学力・学習状況調査の概要

御前崎市教育委員会

「学習」に関する調査結果

小学校6年生		中学校3年生	
国語	算数	国語	算数
△	△	△	△

全国平均正答率と比較して

- ☆ +6ポイント
- ◎ +6ポイント～+2ポイント
- +2ポイント～-2ポイント
- △ -2ポイント～-6ポイント
- ▲ -6ポイント以下



国語の結果分析

小学校

良好	◇登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題 (思考・判断・表現「読むこと」)
課題	◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、内容を検討することができるかどうかをみる問題 (思考・判断・表現「話すこと・聞くこと」) ◇話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるかどうかをみる問題 (知識・技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」)

中学校

良好	◇文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる問題 (知識・技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」)
課題	◇目的に応じて必要情報に着目して要約することができるかどうかをみる問題 (思考・判断・表現「読むこと」) ◇資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる問題 (思考・判断・表現「話すこと・聞くこと」)

二 和田さん

「オンライン交流の様子の一部」

深緑小学校 村木さん

海風小学校 和田さん

② はじめまして。深緑小学校の村木です。今日は、とても楽しみにしていました。

① はじめまして。海風小学校の和田です。よろしくお願いします。

③ メールありがとうございました。図書委員会のことを知りたいということでしたので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのしょうかい、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んでいたことがない分野の本を読みました。

④ せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかわからなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。

⑤ 説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれまして、私もクイズに参加しました。今まで読んでいたことがない分野の本を読むことができました。

⑥ よく分かりました。おもしろそうですね。

⑦ そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際に出版されたクイズが書かれたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことができました。

【分析メモ】

全国の調査結果と比較をすると、小学校は「思考・判断・表現」に比べ、「知識・技能」の力に課題があることがわかりました。一方で、中学校では、「知識・技能」に比べ「思考・判断・表現」に力に課題があることがわかりました。

「知識・技能」の問題では、単に知識の量（言い換えると「知っているかどうか」）が問われるものではありません。場面に応じて使うことができる「知識・技能」が身に付いているかどうか問われています。言葉を覚えることや、漢字が書けることは大切なことですが、国語の基礎・基本はそれにとどまりません。他教科や日常生活の場面で生きる「知識・技能」の習得につながる授業改善が必要となります。さらに、身に付けた「知識・技能」を活用する「思考・判断・表現」の場面が、授業の中で効果的に設定されることで、目的や場面に応じた思考力・判断力・表現力が身に付くことにつながります。

国語の授業で学んだことが、他教科や生活につながる経験を積むことが、大人になっても生きる国語の力の育成に必要不可欠です。

【問題】和田さんは、村木さんの発言④を受けて、発言③の話し方を発言⑤のように変えました。話し方を変えた理由として適切なものを1から4までの中から一つ選びましょう。

- 1 言葉の順序に気をつけて短い文で話した方がよいことに気づいたから。
- 2 相手に応じて敬語を使ったほうがよいことに気づいたから。
- 3 まちがった情報をすぐに直した方がよいことに気づいたから。
- 4 同じ音で異なる意味をもつ言葉を使わない方がよいことに気づいたから。

算数・数学の結果分析

小学校

良好	◇円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる問題 (知識・技能「データの活用」)
課題	◇除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかを見る問題 ◇除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題 (知識・技能「式と計算」)

【分析メモ】

小学校では「知識・技能」の特に「式と計算」と「図形」に課題が見られました。中学校では「知識・技能」については全国と同等の結果でした。一方で「思考・判断・表現」は課題が見られ、特に「図形」の領域に課題が見られました。

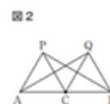
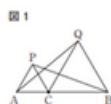
「式と計算」については「速く」「正確に」計算をすることだけを目指すのではなく、式の意味や除法の概念の理解をすることが大切です。本質的な部分まで理解をすることで、いろいろな場面で活用できることにつながります。

中学校の「図形」領域の証明の問題では、説明の根拠が不足しているため誤答となる場合が多くありました。筋道を立てて説明をすることは、他教科や日常生活でも使う大切な力です。数学の学習場面だけでなく、論理的に説明する経験を積み重ねる必要があります。

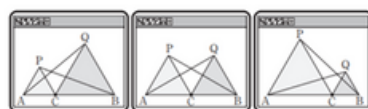
中学校

良好	◇簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる問題 (知識・技能「データの活用」)
課題	◇複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるかを見る問題 (思考・判断・表現「データ」の活用) ◇筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題 (思考・判断・表現「図形」)

9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。
純子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。



二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 純子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。
純子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \cong \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



証明

$\triangle QAC$ と $\triangle BPC$ において、

合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $AQ = PB$

☆各教科の問題は「国立教育政策研究所HP」から見るができます。
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

「生活」に関する調査結果

単位%	毎日同じくらいの時刻に寝ている		毎日同じくらいの時刻に起きている		朝ごはんを毎日食べている	
	本市	全国	本市	全国	本市	全国
小学6年	72.8	82.9	86.5	91.6	83.8	83.4
中学3年	79.1	80.7	96.3	92.5	81.9	79.1

1日あたりのゲーム時間と平均正答率の相関



1日あたりの動画視聴時間と平均正答率の相関



ゲームや動画視聴の時間を1日1時間程度に収められる児童生徒は平均正答率が高い傾向にあります。家庭で約束を決めたり、自分で時間をコントロールしたりする生活習慣は、時間を有効活用することにもつながります。計画的に行動できる力は学力の定着につながります。

